



シャイニングアロー・ミニストリー

ニュースレターVol. 18 2014年11月

〒420-0875 静岡市葵区美川町4-23 静岡サミル聖書教会内

電話:054(254)0262 Fax:054(254)0269 Email:arrow04stbc@ybb.ne.jp



「幼子のような信仰に徹して生きよう」

シャイニングアロー・ミニストリー代表

静岡サミル聖書教会牧師

李 英洙(リー・ヨンス)

やっと1才になった孫娘の成長を近くで観察しながら、私は自分の信仰のあり方を改めて点検させられ、教えられています。イエス様は幼子達を受け入れて「子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこにはいることはできません。」と言われました。この御言葉に込められた真意は一体なんなのでしょう。

第一に罪に汚れた大人達の多くは素直でも単純でもありません。疑り深く、自己防衛のために人を安易に信頼したりしませんが、幼い子どもたちは親の言ったことを単純に素直に、少しも疑うことなく信じます。主は其のような信仰を私達が持つように願っているのです。

第二に大人達は弱さを隠してがんばって生きていますが、幼い子ども達は自分の弱さの中で、親の愛に絶対的信頼を置いて、全面的に甘えて依

存しながら生きています。そのように私達も無理してがんばって生きるのではなく、主に全幅の信頼を置いて、依存して生きるように願っているのです。

第三に多くの大人達は本音と建前を区別して、偽善的な生き方をして生きていますが、幼い子ども達は全て本音を隠さないで親に訴えて生きています。そのように私達も主の御前で本音で祈れるような信仰者になることを願っているのです。

最後に、幼子の信仰とは、祈りの中で聖霊の声に聴従する信仰です。幼子はいつでも親の声だけに集中して生きています。親の声だけが自分の命を守る生命線だと知っているので、親の声だけを聞いて、ほかの人には決してついていきません。羊も羊飼いの声だけを聞いてついていきますが、主は私達がこの世の惑わしの声や、罪深い自分の肉の声に従うのではなく、内なる御霊の思いに耳を傾け、また御言葉の声だけを聞いてついて来てくれることを願っているのです。

李英洙師：伝道礼拝奉仕



愛する皆さん、罪に汚れた大人の心を捨てて、幼子のような強い信仰に徹して主のふところに飛び込んで祈り求めていきましょう。そうすれば主は喜んで其の祈りに答えてくださり、奇跡の御業を表してくださるに違いありません。イエス様は近づいてきた幼子たちを喜び、ふところに抱いて祝福して下さいました。ですから私達も共に霊的幼子になって主に近づき、たくさんの霊的祝福をいただく者になりましょう。

☆ 幼子のような信仰に徹した信仰の勝利

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神が全ての事を働かせて益として下さることを、私たちは知っています。」 ローマ 8 : 28

5 月に鹿児島県の F 先生の教会の献堂式の奉仕に招かれ、奉仕して来ましたが、火事で消失した礼拝堂が僅か半年余りで再建された奇跡に驚きと感動を覚えました。再建の一部始終を F 先生夫妻から聞かせていただき、改めて主のご計画の素晴らしさと恵みの大きさに大いに励まされましたので、それをお分かちし、主の栄光をほめたたえたいと思います。

会堂消失の半年前から牧師夫人が体調を崩したのですが、その中で日々の祈りの生活が深められ、祈りの霊が注がれるようになり、それが半年後の試練に備える祈りとなっていたのだそうです。前の会堂は立ててから 8 年が経ち、少し増改築をしたいと思って計画していた矢先に、エアコンの漏電によって会堂が全焼してしまったのですが、その火事のさなかにあつて牧師夫人の心は平安に満たされていたそうです。なぜかという、半年間の祈りの中で常に冒頭の御言葉が何度も示されていたので、この火事を通して主が全てを働かせて益としてくださるに違いないとの確信が与えられていたということでした。そしてその確信は果たしてその通りになったのです。

消失後に、多くの人からの会堂再建への励ましを受け、再建するために動き出したそうですが、そこで最初に与えられた恵みが、かけていた火災保険の保険金が満額下りたことだったそうです。かけていた火災保険金は毎年一万円位という小額の保険だったそうですが、なんとそこから 1200 万円という多額の保険金が下りて、再建資金の原資が与えられたのです。その資金をもとに、教会員の方々が献金を始め、また外部からの再建支援献金も次々に与えられて、

結果として再建に必要な資金がほとんど整えられたのだそうです。また会堂の備品も近隣の教会や個人の方々の献品によって次々に与えられて、その結果半年余りでのスピード再建が可能になったのです。

今回私は、再建された会堂を見て、以前の会堂よりも、立派で大きいのに驚きました。8 年前に立てられた会堂は手狭で、使いづらい感じがありましたが、その弊害が全て取り除かれ、理想的な会堂が出来上がっていました。F 先生たちの当初の計画では小規模な増改築だったのですが、主のご計画は漏電事故を用いて大規模な立替えをするということだったのでした。以前の会堂より 2 倍ちかく広くなり、教会での冠婚葬祭や、特別集会のためにとても使いやすい会堂となりました。主は人間の思いや計算を超えた素晴らしい恵みを与えてくださったのでした。私はその会堂での最初の特別礼拝と特別賛美の奉仕の恵みにあずかってとても大きな喜びに満たされました。同時に、F 先生ご夫妻に与えられた幼子のように主を信頼する信仰と祈りが、素晴らしい奇跡を産み出した証しを目撃させていただき、とても励まされました。私も幼子のように主の御言葉の約束を一層強く信じて、前進して行きたいと思われました。愛する皆さんも、幼子のように主の愛と力を信じて共に歩んで行きましょう。



☆健全な信仰生活に必要なバランス感覚について（２）

前回に続いて、健全な信仰の成長に最も必要な霊的バランスについて考えて見たいと思います。前回では神の母性愛と父性愛のバランス、信仰と行いのバランス、理性的信仰と感情的信仰のバランスについて書きましたが、今回はそれに追加して、更に必要なバランスのテーマを取り上げたいと思います。

①主日礼拝とデボーションとセルグループ

主が牧会者である牧師を通して、群れ全体に語られるメッセージを聞く主日礼拝ほど重要なものはありませんが、中には主日礼拝だけで充分だと勘違いをして、デボーション（個人礼拝）をおろそかにしている人が少なくありません。新しい1週間の霊的糧を主日礼拝でいただくだけでは信仰の現状維持がやっとできるというところでしょうか。それだけでは霊的糧は不足してしまいます。やはり毎朝のデボーションをして、日々の霊的糧をしっかりと食べることが霊的成長につながるものとなります。そしてそれに加えて更に、セルグループ（小グループ礼拝）の交わりが必要だと思います。信仰が養われ、成長して行くためには小さな家族単位の共同体に属することが必要です。そこでの信仰の先輩や後輩との親密な家族的交わりを通して、信仰生活の様々な問題に対処していく術を学ぶことができます。また交わりの中でいろいろな悩み事を相談して、グループケアを受けることによって、信仰の矯正や強化をすることができます。また互いのためのアカウンタビリティーを身につけることによって支え合うことができます。以上三つの礼拝を三位一体的に捉えて実践することによって、信仰を健全に保ち、成長させることができると思います。

②カウンセリングとコーチング

カウンセリングは過去の霊的問題を解決して、その人が過去から引きずってきた問題を清算することによって人格を矯正し、現在の信仰生活での困難を克服することができるようになります。その中でも特にインナーヒーリングカウンセリングは潜在意識下の傷の癒しと変革に役立

つものですから実践することをお勧めします。

一方コーチングは現在の霊的問題を解決するために必要な知識や助言を与えること、例えば賜物に応じたビジョンの形成とか、その用い方や仕え方等を教えることによって、信仰生活を整えていくことができます。この両方を統合させた言い方としてメンタリングということばがありますが、信仰の健全な成長にはメンターによるカウンセリングとコーチングが必要です。教会のもっとも大きな使命である弟子作りに、この二つの道具を組み合わせる用いるなら、主に用いられる有能な弟子を育成することができると思います。



③癒しと悔い改めと赦し

信仰生活の祝福を妨げているものの一つが赦せない心です。その心の中を探っていくと、とても深い怨みや憎しみを持った傷ついた心にぶつかります。そのような人に対して傷つけた人を赦しましょうと助言してもなかなかそれをするのは困難です。また感情的には赦せないかもしれないけど理性で赦しますと宣言しましょうと導いても、本心から赦すことができないのであまり効果はありません。その場合にはまずは苦々しい感情の元となった傷を、主の共感と慰めによって深く癒してもらう必要があります。人は癒されると心が軽くされ、頑なな心が溶かされていきます。するとその結果、自分が憎んだ罪や復讐心を手放すことができるようになり、その罪を悔い改めることができ、心からの赦しを選び、宣言することができるようになるのです。この三つがセットでバランスよく実行されるとき、しっかりと過去との精算と決別が可能になり、現在を取り戻して生きることができるようになります。そして未来に向かって前進していくことができるようになるのです。

李 英洙（リー・ヨンス）・プロフィール

1949年、韓国で生まれ、3才から静岡市で成長する。早くから歌の才能に目覚め、高校時代に本格的にオペラ歌手の道を志す。1974年、武蔵野音楽大学声楽科を第2位で卒業。77年に西ドイツのロバートシューマン音楽大学に留学し、80年には西ドイツ演奏家国家試験に最優秀で合格、ディプロマを獲得する。在学中から北西ドイツ各地でオラトリオ歌手として活躍し、好評を得る。その間に教会に導かれ、真理に目が開かれクリスチャンとなり、81年、神の召しによってオペラ歌手の道から聖職者の道に転進する。西ドイツのヴィーダネスト聖書学院、東京の聖書宣教会（神学舎）を卒業後、85年大韓イエス教長老会（高麗派）宣教師として、静岡市にて開拓伝道

を開始し、静岡サミル聖書教会を設立。現在まで同教会牧師として働いている。牧会のかたわら、巡回賛美伝道者としても献身、全国各地の教会の伝道会・聖会に招かれ奉仕している。2005年からインナーヒーリング・ミニストリーの普及に取り組み、セミナー講師及びカウンセラーとしても仕えている。2006年から開拓伝道20周年を期にシャイニングアロー・ミニストリーを新たに立ち上げ、毎年日本縦断伝道ツアーを行い、全国各地の教会を精力的に巡回している。与えられた賛美の賜物とメッセージの二刀流を駆使して語る赦しの福音、慰めと癒しの福音は多くの人の心を捕らえ、救いと癒しの恵みに導いている。著作として「闇をつらぬく光の矢へ（傷ついたインナーチャイルドの癒しと変革）」「在日ちろば二世物語」賛美CD「ああ主よ我を」「光の主はともに」がある。

<奉仕分野>

各種伝道集会での賛美、証し、伝道説教
信徒の建て上げ説教、献身礼拝説教
地域の教派内や超教派での聖会奉仕
慰めといやしの聖会奉仕
インナーヒーリングセミナー
個人カウンセリング・コーチング

- ・奉仕内容は各教会のニーズに合わせて柔軟に対応いたしますので、ご相談ください。
- ・奉仕料につきましては、教会としてできる範囲でお考え下されば結構です。
- ・各教会の歴史や方針をあくまで尊重して、教会形成に役立つ奉仕を心がけます。

～李英洙の書籍類 好評販売中～

★「在日ちろば二世物語」（1000円）

57年間の波乱に富んだ半生を赤裸々につづった自伝です。大変好評です。神の生きた御業の数々に感動し、信仰生活の励みになる内容です。伝道用にも牧師や信徒の霊的養いにも有益です。

★「闇をつらぬく光の矢へ」（1000円）

5年間に渡る聖書のインナーヒーリング体験から生まれた実用的なインナーヒーリングミニストリーの手引き書です。特にセルリーダーや牧会者にとって有益な内容ですのでお買い下さい。

★賛美CD「ああ主よ我を」（2000円）

甘いテノールの美声が歌う、クラシックからゴスペルまでの珠玉の全12曲を収録。

賛美CD「光の主はともに」（2000円）

慰めと励ましをテーマにした全12曲を収録。

- ★ サポーター会員の募集：李師の日本人宣教への熱い思いに共感し、この働きを祈りながら自由献金によってサポートして下さる教会や個人の方々を募集しています。会員の皆様には定期的にニュースレターや書籍・集会・演奏会等のご案内をお送りいたします。また様々な悩み事のアドバイスとカウンセリングをいたします。

郵便振替口座：00880-2-80020

「静岡サミル聖書教会」

銀行口座：静岡銀行 しずはた支店

普通 0427810

* 2015 年度も左記の予定表に従って、各地域を巡回いたします。またこれ以外に各教会で特別集会をご希望の場合には、随時ご依頼を受け付けていますので、日程や内容について何なりとご相談ください。

<2015 年度の宣教旅行予定表>

2月14～22日	東海地区
3月14～22日	九州地区
4月11～19日	四国地区
5月 9～17日	北関東地区
6月13～21日	東北地区
7月11～19日	南関東地区
9月12～20日	中国地区
10月10～18日	甲信越地区
11月14～22日	近畿地区
12月12～20日	東京地区